

資料 2

平成28年9月21日(水)18:30～
本山町保健福祉センター 一般検診室

日本一の健康長寿県構想嶺北地域推進協議会設置要綱

(目的)

第1条 住民が住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていくためには、それぞれの地域の特性に応じた保健・医療・福祉等の連携した体制や仕組みづくりが必要であり、それらのことについて地域の関係者や住民と協議し、協力した取り組みを進めるために、日本一の健康長寿県構想嶺北地域推進協議会（以下「推進協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進協議会は、次の各号に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 地域の保健・医療・福祉等の推進方針及び方策に関すること。
- (2) その他、地域の保健・医療・福祉等に必要と認められる事項に関すること。

(委員)

第3条 推進協議会の委員は別表に掲げる委員で構成する。

ただし、必要に応じてその他の有識者等を委員として構成できるものとする。

2 委員の任期は2年とする

ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第4条 推進協議会には、委員の互選によって、会長、副会長を置くことができる。

(部会)

第5条 推進協議会には、所掌事項を推進するために必要な部会を置くことができる。

2 部会は、推進協議会の委員のほか、必要に応じてその他の有識者等を委員として構成できるものとする。

(事務局)

第6条 推進協議会の事務局は、中央東福祉保健所に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進協議会の運営に関し必要な事項は、推進協議会において定める。

附則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

現状及び課題

<現状>

- **たばこ対策**
- 防煙の徹底<喫煙を開始させない、習慣化させない>
 - ・ 妊産婦の喫煙率は横ばい 妊婦 H24:4.7%⇒H26:3.7%
 - ・ 喫煙による補導数は減少 (H24:164人⇒H26:103人)
- **禁煙(分煙)の推進<望まない受動喫煙を防ぐ環境づくり>**
 - ・ 小中学校の敷地内禁煙は、南国市、香南市以外100%実施
 - ・ 「空気もおいしい認定店」の増加 (H25:41店舗⇒H27:51店舗)
 - ・ 「ノンスモーカー応援施設」の増加 (H25:16件⇒H27:38件)
- **禁煙支援<禁煙する人を増やす>**
 - ・ 特定健診受診者の喫煙率が低下 国保 男性H22:24.8%⇒H25:23.5%
 - ・ 協会けんぽの喫煙率が国保より高い (H26:男性45.0%、女性16.3%)
- **高血圧対策**
 - ・ 特定健診受診率は横ばい (国保 H24:37.4%、H26:38.4%)
 - ・ 血圧計の保有率は高い(72~83%)が、毎日測定している人は少ない (約2割: H27市町村調べ)

- **歯科保健対策**
- **むし歯予防対策**
 - ・ フッ化物洗口実施施設が拡大 (H25:19施設⇒H27:31施設)
- **歯周病予防対策**
 - ・ 市町村特定健診時歯科指導。20・30歳代及び職場への働きかけが弱い
- **高齢者等歯科保健対策**
 - ・ 健口体操の普及(全市町村で実施)
 - ・ 高齢者施設での口腔ケア(管内介護老人福祉施設及び介護老人保健施設全20)
 - 口腔状態把握 85% 摂食嚥下のチェック 90%
 - 協力歯科医(契約) 85% 職員研修 65%

<課題>

- **たばこ対策**
 - ・ 妊産婦の喫煙率の低下
 - ・ 学校敷地内禁煙等公共施設の受動喫煙防止対策の徹底
 - ・ 飲食店等の受動喫煙防止対策の推進
- **高血圧対策**
 - ・ 健康増進・食育推進計画の推進
 - ・ 働きざかりの高血圧対策等生活習慣病予防の推進
- **歯科保健対策**
 - ・ フッ化物洗口の学校への拡大
 - ・ 在宅歯科医療の推進

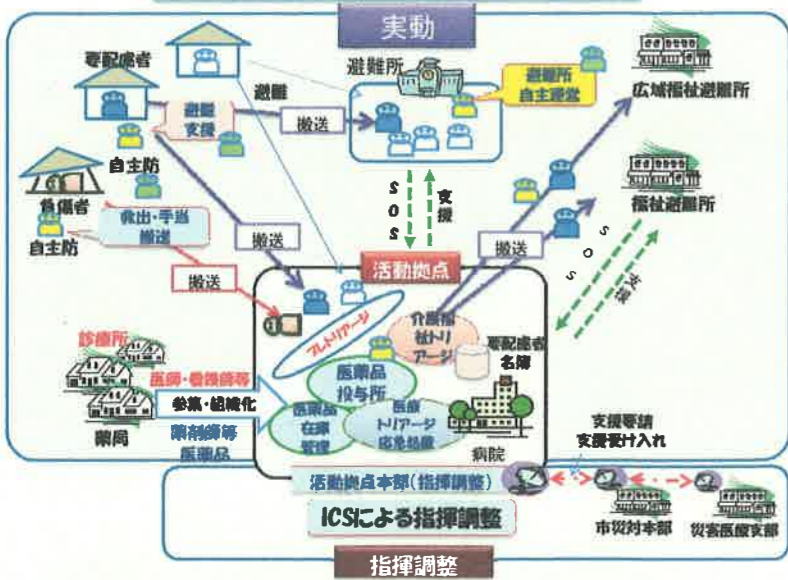


支援を拡充

- **たばこ対策**
- 防煙の徹底<喫煙を開始させない、習慣化させない>
 - ・ 薬物乱用防止事業と連携した未成年の喫煙防止に向けた普及啓発
- **禁煙(分煙)の推進<望まない受動喫煙を防ぐ環境づくり>**
 - ・ 関係団体等と連携した「地域で取り組む受動喫煙を防ぐ環境づくり」
 - ・ 禁煙週間の「受動喫煙防止キャンペーン」開催
 - ・ 「禁煙だっただらうれしい場所ベストテン」の展開
 - ・ 小中学校を含む公共機関における建物内・敷地内禁煙の徹底
 - ・ 飲食店等の啓発を行い「空気もおいしい認定事業」「ノンスモーカー応援事業」を推進
- **禁煙支援<禁煙する人を増やす>**
 - 新・禁煙支援チラシの作成
 - ・ とさ禁煙サポーターズのプロローグ・アープ研修会の開催等活動しやすい環境づくり
- **高血圧対策**
 - 健康増進計画、食育推進計画等の推進及び既存の効果的な事例の周知
 - 「健康づくり団体連携促進事業」の市町村の活用促進による受診率向上
 - 地域・職域連携推進事業を活用した事業所の健康づくりの推進
 - ・ 職場の健康づくり応援研修会(7月14日) 健康経営の周知
 - ・ 出前健康教室(6カ所) グッズ貸出し等
 - 「高血圧サポーター事業所」「食育応援店」の増加
- **歯科保健対策**
- **むし歯予防対策**
 - ・ フッ化物洗口実施施設拡充(3市の教育委員会等への啓発)
 - ・ お口げんき体操の普及(園長会)
- 新・学校での歯科保健の取組調査
- **歯周病予防対策**
 - ・ 市町村特定健診の歯科保健指導
 - ・ 国保加入者以外の働き盛り世代の歯科保健の実態調査の実施準備
- 新・妊婦歯科健診の定着
- **高齢者等歯科保健対策**
 - ・ 口腔ケア実施者の技術向上のための研修会企画

前方展開型・総力戦の救護訓練の実施と今後の課題

総力戦の救護体制の目指す姿



- ① 移動通信が制限された中での組織的な活動が可能なエリア(小地域)を設定
- ② 小地域内の資源を総動員して救護、地域住民の参加協力
- ③ できる限り、受け皿は小地域内で確保し、一部のみ域外搬送

JA高知病院周辺地域を仮想エリアに4回の訓練を実施

8/13 机上訓練 参加者149名 9/20 シミュレーション訓練 参加者86名
12/2 現場指揮所訓練 49名 12/13 シミュレーション訓練参加者 342名

① 被災直後のBCP対応から参集、組織化、救護活動、受入調整までの流れ



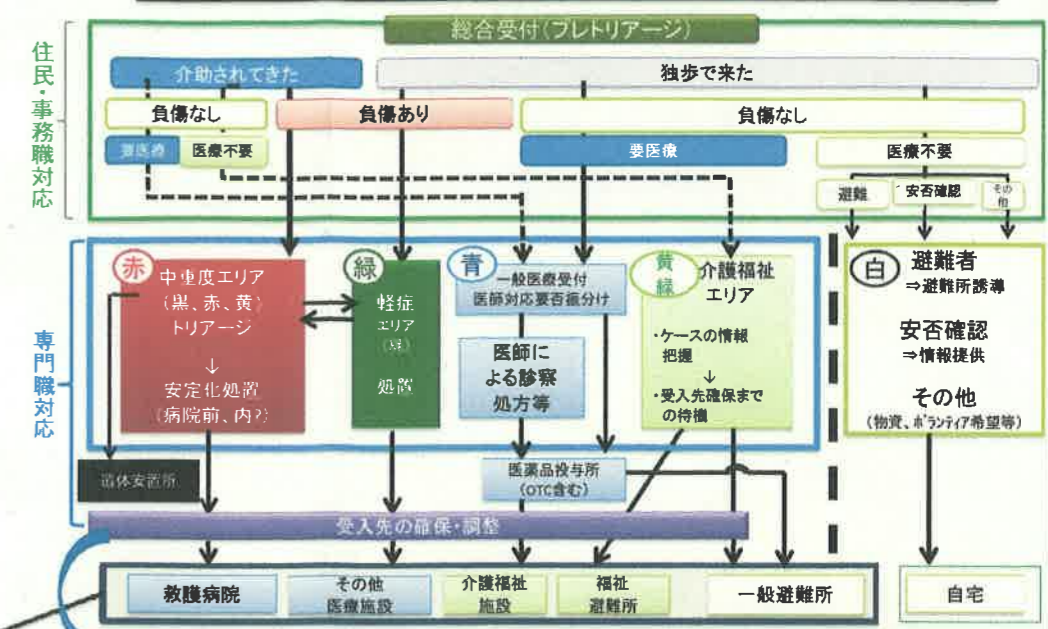
拠点に参集後



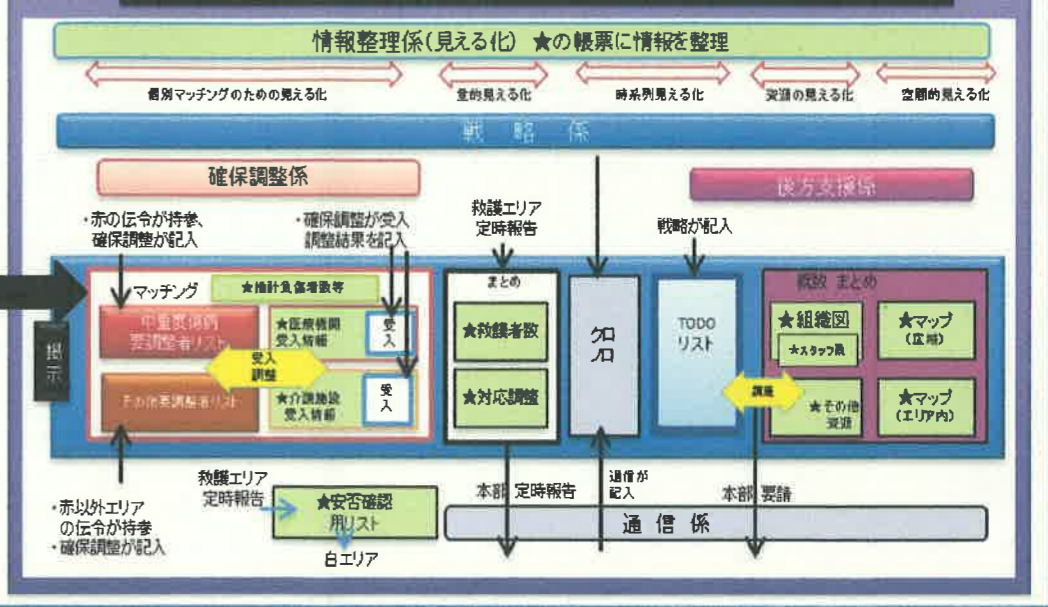
近隣で受入施設を確保
全て空想。実際より狭いエリア



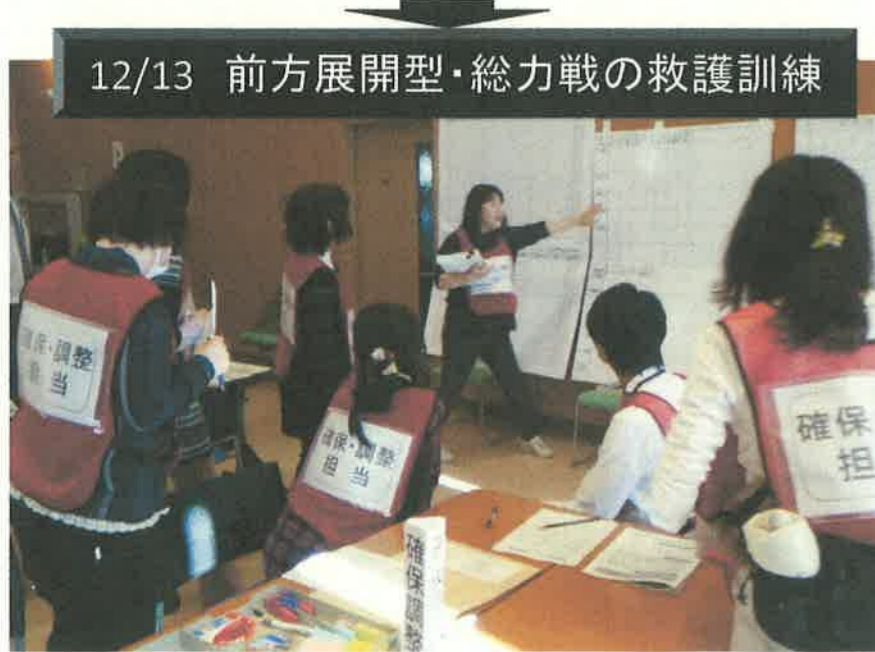
② 病院前の活動拠点に殺到する多様な被災者に組織的に対応



③ 現場指揮所内で受入先を確保調整



これまでの取組の経緯(概要)	
3/3	災害医療対策支部会議の取組として、南国・香美・香南市の自治体・医療・警察・消防による総力戦の救護訓練を12月に実施することを決定
5/12	南国・香美・香南市の保健医療・介護福祉・危機管理課と地域本部、福祉保健所の合同会議を開催(30名)。行政WG設置を決定
8/13	医師会主催の勉強会で机上訓練を実施(参加者149名)
9/20	JA高知病院にてWGメンバーを中心にシミュレーション訓練(参加者86名)
10/19	災害医療対策支部会議で8/13、9/20訓練報告
12/2	南国・香美・香南市自治体、警察、消防の参加で現場指揮所訓練を実施(参加者56名)
12/13	南国・香美・香南市の自治体・医療・警察・消防・介護福祉関係者による総力戦の救護訓練をJA高知病院で実施(参加者約342名)
WG等	薬剤師: 11回 代表者と協議、支部研修会で説明、WG9回 延べ159名 行政: 15回 救護する対象者の洗い出し、模擬訓練で患者の流れを確認、情報の流れを模擬訓練で確認、WG6回 延べ189名 医師: 1回 訓練概要説明、医師WGの役割 その他 両医師会長6回、JA高知病院4回、看護協会、看護師WG準備会、地域本部3回、警察2回、消防2回



よりリアルな想定

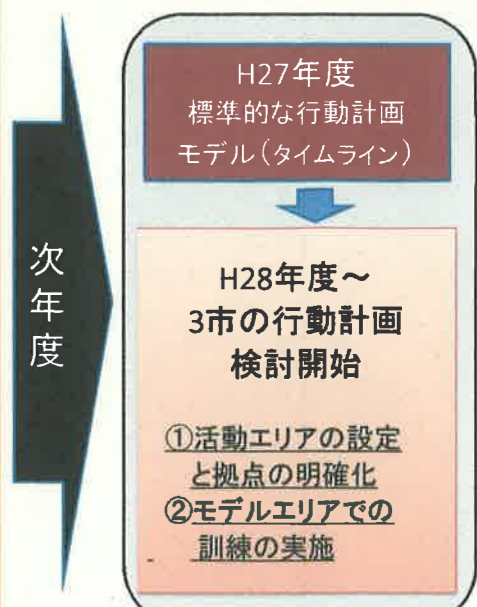
- ① 負傷者に加え要介護者など多様な被災者が殺到する
- ② 後方搬送・域外搬送は、わずかしき期待できない(消防も搬送不可)
- ③ 移動・通信が制限されるため市域全体では組織的な活動ができない
- ④ ただ参集しても、誰が何をしたら良いかわからない

訓練の成果

- ① 総力戦の救護活動のよりリアルなイメージを共有でき、自分の役割も体感的に理解できた。
- ② 幅広い関係者の共通理解、危機意識・やる気の高まり
- ③ 危機管理、消防、警察等との相互理解が深まるとともに、具体的な連携協力の必要性を訓練でイメージ化できた
- ④ 今後の訓練の雛形となる様々なグッズや様式、模擬事例、ノウハウができた

今後の課題と対応

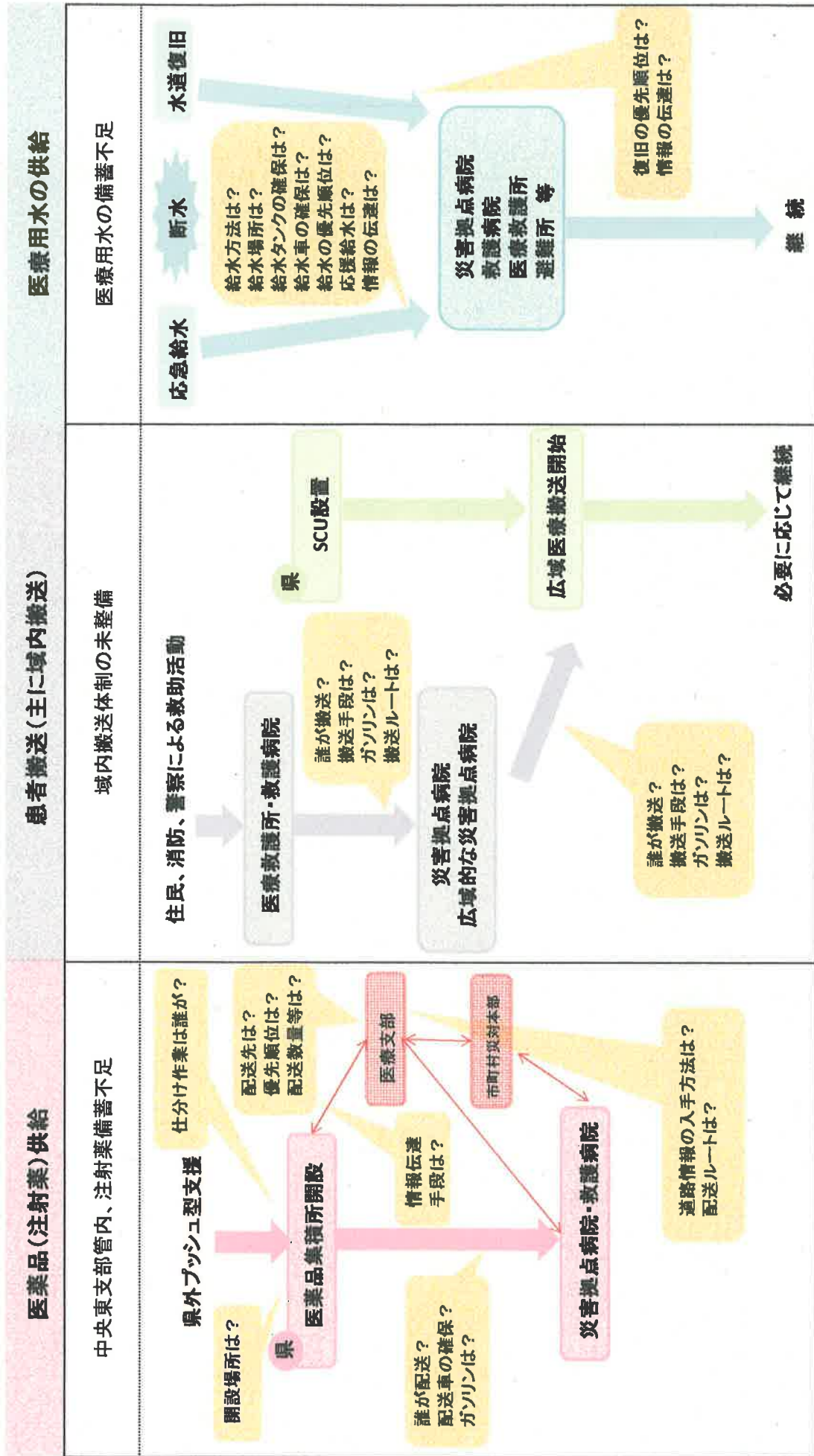
- 災害医療対策支部会議
 - ・JAでの訓練をベースにした行動計画(タイムラインの作成)
 - ・市町村毎の基本エリアの設定と拠点の明確化
 - ・参集する幅広い関係者への周知と協力要請
 - ・医療従事者による応急処置のスキルアップ
 - ・医療機関BCPの作成
 - 市危機管理部門、地域本部、介護福祉部門との調整
 - ・ロジ支援に関する合意形成(DCPの作成)
 - (応急的な支援拠点の明確化と優先順位づけ、具体方策)
 - ・災害対策支部(地域本部)との関係整理
 - ・要配慮者避難支援との関係整理
 - 県本庁、本部会議
 - ・医療救護計画の改訂等に係る支部からの提言
- 上記に基づく、DCP/タイムラインのブラッシュアップ



地域総力戦による災害救護活動【南国市(救護病院前医療救護所周辺)】タイムライン

時間	発生事象	救助・救急、消火等			医療			介護・福祉		避難場所		行政					
		住民・自主防災組織等	消防署		警察署		近隣の医療機関			拠点となる病院		施設	避難所	市町村	福祉保健所	地域本部	
		応急手当等	救助・救急	消火等	救助等	交通・遺体対応	診療所	歯科診療所	薬局	病院前医療救護所 現場指揮所 救護エリア		入院患者対応	入所者対応 広域福祉避難所	避難者対応	災害対策本部	医療支部	災害対策支部
発災前		プッシュ型支援のための発災直後の人的資源及び物的資源の需要量の事前推定と平時からの資源量の把握															
発災後	地震発生【緊急地震速報】 建物倒壊 火災発生 道路寸断	安全確保 避難開始	指揮命令系統の確立 庁舎安全確認 職員安否確認 被災状況調査 市本部への報告 (被害状況、活動状況) 活動方針の決定・指示 優先順位に基づく活動 (特に、建物火災への消火活動)		指揮命令系統の確立 庁舎安全確認 職員安否確認 被災状況調査 県警本部報告	患者避難誘導 被害状況調査 職員安否確認	患者避難誘導 被害状況調査 職員安否確認	患者避難誘導 被害状況調査 職員安否確認			災害対策本部 設置 患者安否確認 被災状況調査 職員安否確認 自家発電への移行 入院患者対応	施設利用者・入所者 避難誘導 被災状況調査 職員安否確認 入所者対応	避難者受入開始 避難所運営	災害対策本部 設置 指揮命令系統確立 被災状況調査 活動拠点、人員、資機材、通信手段の確保	対医療支部 設置 指揮命令系統確立 被災状況調査 人員、資機材、通信手段の確保 医療本部への活動状況等報告	対支部 設置 指揮命令系統確立 被災状況調査 人員、資機材、通信手段の確保 災害対策本部への活動状況等報告	
～1時間	病院前医療救護所の救護活動等への協力		緊急消防援助隊の受援体制確立	避難誘導 交通規制 交通整理	救護診療所として活動可能な場合は立上準備	拠点となる薬局として活動可能な場合は立上準備	拠点となる病院前救護所に参集 (発災直後情報、医薬品・医療材料等持参)		参集した域内医療従事者等で組織編成 現場指揮所及び救護エリア設営準備		拠点となる病院前救護所に参集 (居宅系介護職員等)	状況連絡票・避難者名簿を現場指揮所に持参	道路啓開 ↓ ライフラインの応急復旧作業	医療救護所設置 運営 避難所情報確認	EMIS代行 入力 EMIS等で被災状況把握	総合防災拠点 開設	
～6時間	住民による救出・応急手当・搬送	重機等による救出	情報収集	上記活動の継続	情報収集	上記活動の継続	警察災害派遣隊の受援体制確立	電源確保、防災無線等通信環境の整備、EMIS等ネットワーク、事務用品、コピー機等の確保、水・食料の手配、車及びガソリン等の準備		病院本部長と救護所本部長との役割分担等協議		病院前医療救護所設置	SCU本部設置	医療救護所開設 状況確認 EMIS等で被災状況把握 医療救護所からの支援要請について 対応 要配慮者台帳情報(透析患者を含む)を医療救護所に送信	情報収集 市本部からの医療従事者、医薬品等要請への対応	道路啓開 ↓ ライフラインの応急復旧作業	
～24時間			情報収集	上記活動の継続	遺体検視	遺体検案	身元確認 対応	救護診療所業務開始(後方支援が必要な場合は、要請)	推計負傷者数確認 不足医薬品等迅速評価、要請 域内被災情報や資源をマップ化 EMIS情報入力、収集 医療機関・介護福祉施設受入情報と中重度傷病要調整者等リストによる受入調整 要配慮者名簿の受領、救護エリアとの情報共有 救護者数等市本部に定時報 告 域内要請事項を市本部に要請	来訪者を各エリアに誘導 トリアージの実施 軽症者の応急手当等実施 介護が必要な方への相談対応等実施 避難所や安否確認の情報提供 慢性疾患等に係る医師による診察やお薬の投与 医薬品等の在庫管理	中重度患者受入	軽症者を介護施設等に移動	福祉避難所開設 要配慮者受入	DMATの受入	後方医療機関への重症者搬送	DMATの受入	DMATの受入
～48時間			情報収集	上記活動の継続	上記活動の継続	上記活動の継続	上記活動の継続	上記活動の継続	上記活動の継続	上記活動の継続	入院患者・受入患者対応の継続	入所者・要配慮者等対応の継続	避難所運営活動の継続	上記活動の継続	上記活動の継続	上記活動の継続	
～72時間							再開可能な施設から順次、通常業務へ移行				医療支援チーム受入	HOTステーション開設		保健衛生活動			

想定される課題のイメージ例



れいほくで働きたい人求む!

参加費
無料

ふくし・介護・医療 就職相談会

れいほく 就職相談会

友達同士で楽しく就活しよ〜。このチャンスを見逃すな!

2016
10.10 (月)
10:00~

募集対象：嶺北でのふくし・介護・看護の
お仕事に関心のある方。

メイン会場：本山町プラチナセンター
(高知県長岡郡本山町本山569-1)



資格・年齢
不問

仕事



自然



イベント



仲間



スケジュール

9:00 高知駅北口出発 (高知市周辺の方)
※お申し込みが必要です。

10:00 ~ 本山町プラチナセンター集合
就職相談会

12:00 ~ 「土佐の豊穰祭 2016」見学
自由行動 ※希望者のみ

13:30 ~ 各施設見学・解散

16:30 高知駅北口解散 (高知市周辺の方)

当日は午前9:50までに本山町プラチナセンターにお集まりください。なお、申し込みをしていただければ、高知駅北口発のバスが利用も可能です。お知り合いの方がいれば、お誘いの上ご利用ください。持参金や施設見学で筆記用具やメモが必要な場合がありますのでご用意ください。

土佐の豊穰祭 2016



当日は就職相談会会場近くで開催されている「土佐の豊穰祭」にご案内します。「土佐の豊穰祭」はれいほくならではの食材の美味しさを満喫できるイベントです。この機会にれいほくのオイシイ食べ物もチェックしてください!

参加事業所
介護老人保健施設レイクビューさめうら・
特別養護老人ホームトキワ苑・早明浦病院・
デイサービス元気村たい・総合福祉ゾーン天空の里
本山町立国保嶺北中央病院

お申し込み・お問い合わせはこちらまで。お気軽にどうぞ。

☎ **0887-53-0298**

e-mail: tadaaki_yamamoto@ken4.pref.kochi.lg.jp

●FAXでのお申し込みは裏面です。

受付：高知県中央東福祉保健所地域支援室

※TELは8:30~17:15 (土・日・祝日除く)。

e-mailの返信は翌日もしくは翌日以降になる場合がございます。

※集合場所までの交通費・昼食代は各自でご負担ください。

※日程・内容は場合により変更することがあります。

主催：高知県 / 高知県社会福祉協議会・高知県福祉人材センター / れいほくバスツアー実行委員会 共催：高知県看護協会

介護・看護職員を募集中!

私たちと一緒に土佐町で働きませんか?
職員の6人に1人が嶺北地区外の出身です。

れいほく就職相談会で
お待ちしております。



お問い合わせ先

社会福祉法人厚敬会
特別養護老人ホームトキワ苑
土佐郡土佐町田井1377番地29
TEL: 0887-82-2741



早明浦病院

院長 古賀 真紀子

土佐郡土佐町田井1372 TEL(0887) 82-0456 FAX(0887) 82-0459

介護老人保健施設 レイクビューさめうら

TEL(0887) 82-0117 FAX(0887) 82-2898



看護・介護職員募集

平成29年4月採用 看護・介護職員募集!



- 職員同士がなかよく、明るい職場です!
- 町立病院(地方公務員)で福利厚生が充実!
- 子どもを産み育てる支援が充実!

いつでも施設見学可能です!



《高知インターから約35分》

本山町立国保嶺北中央病院
TEL:0887-76-2450

ケアマネ・介護職員募集!

地域の医療と高齢者福祉の連携を密にし豊かな在宅生活を豊かに守る支援をしていきます。ご一緒に働きませんか?



制限のない、アットホームな明るい職場です!

医療法人 田井医院
デイサービス元気村
居宅介護支援事業所たい

川村治子
090-8973-3017
土佐郡土佐町田井1445-1

社会福祉法人 本山町にて平成29年4月1日オープン
香南会 総合福祉ゾーン 天空の里

オープニングスタッフ大募集



- ワークライフバランス推進中
年間休日125日(週休2日以上)
- 無資格・未経験者大募集!!
職員が全力でフォローします!
法人内で資格取得も可能
- 介護・看護・相談員募集
しています!

●お問い合わせ TEL: 0887-76-2261
社会福祉法人 香南会 天空の里開設準備室 担当 西岡/井上まで

れいほく田舎暮らしネットワーク

Tel: 0887-72-9303

Mail: reihoku.in@gmail.com

URL: http://www.reihoku.in

当団体は嶺北地域への移住支援はもちろんのこと移住後の交流や相談、地域イベントなどの企画・運営も行っています。家のこと、暮らしのこと、仕事のこと、趣味のこと、何でもお気軽にご相談ください。



このチラシを直接 FAX してください。
折り返しご連絡差し上げます。

FAX 申し込み FAX: 0887-52-4561

高知県中央東福祉保健所地域支援室行

氏名	住所	電話番号
メールアドレス		バス利用 <input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない

こちらに掲載されました。お名前、お電話番号、ご住所等の個人情報は、個人情報保護法に基づき、厳重に管理されます。こちらで知りえた情報につきましては、本企画のためだけに使用いたします。第三者に開示する場合は、法令等により司法および行政機関より個人情報等の取り扱いを委託依頼された場合や、お客様の同意があった場合に限られます。個人情報の開示及び変更・訂正・削除依頼があった場合、その依頼をされた方がお客様本人であると確認がとれた場合のみ、適切な方法で対応いたします。

地域外

高度急性期

高知市内 他
救命救急センター

転院
一般病院
老人保健施設
特別養護老人ホーム

嶺北地域

地域包括
ケア病棟

地域の医療機関

救急対応病院
中軽症救急
対応

在宅医療調整

連携

救急
入院
退院

救急
入院
退院

地域包括
支援センター

ケアマネジャー

サービス提供

介護サービス
施設
特別養護老人
ホーム
老人保健施設

居宅
訪問看護
訪問介護
訪問リハビリ
通所介護 等



療養場所の選択
肢を増やす!

介護予防を
しっかりと
地域で集う場
サロン
あつたかふれあい
センター 等

ケアハウス
グループホーム
養護老人ホーム
病院併設住宅
高齢者住宅

地域のできること
・地域での見守り
・過度な自尊心を
和らげ自分からS
OS
・住民同士で生活
や食を支え合う

課題 帰ってきたい人が、行っただけに
なっていない?

高知市内の病院の退院調整のキーマ
ンに、嶺北地域の受け皿体制について理
解してもらっていない。

嶺北地域を広報する!

自分たちの資源、できること、創るうとして
いるものをPR

長期療養・介護が必要になったとき、どこに住みたい?

一番
大切

「本人、家族の思い」

必要

判断できる正しい情報

在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の中核的医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

（キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

（カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じて、多職種連携の実践を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(1) 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり

	平成28年度上半期の取り組み(成果)	下半期の取り組み予定
早明浦病院	高知市で実施している認知症初期集中支援チームの実際の活動を知るため、菜の花診療所(高知市)のOTを講師に招き、講演会(勉強会)を開催した。	土佐町認知症初期集中支援チーム員会議にPT、Ns、OTが参加予定。Dr中心に認知症の理解に努める。
嶺北中央病院	各地区講演会、各種研修会の参加	各地区講演会、各種研修会の参加
高知県看護協会 嶺北地区代表	◆看護協会研修会 ・5月18日高齢者の理解と認知症の人への看護 ・7月8日9日、10月13日、14日各2日間 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	◆看護協会研修会予定 ・11月10日～11月12日3日間 看護職員認知症対応力向上研修(高知県の委託) ◆看護協会支部 本山、南国、土佐山田支部研修 ◆日程未 看護協会支部研修認知症患者の看護(応用編)
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	・気づきノートを活用し、多職種につながることができました。 ・研修会へ参加し意見交換をしました。(支部)	・気づきノートを継続し連携を図ります。 ・支部等の研修会へ参加していきます。
中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会嶺北代表	中央東ブロックにて「知られていない認知症の治し方?～薬から手術まで最前線について～」で高知大学医学部附属病院上村直人氏にて研修を行った。認知症の方の理解及びケアについて学ぶことができた。	連絡票(医師⇄ケアマネジャー)をケアマネジャーへ配布し、啓発していく。
本山町	・認知症初期集中支援チームの発足 ・認知症ケアパス(本山版)の編集中 ・嶺北4町村で、在宅医療・介護連携推進事業 実施検討会を発足(8/3)	・認知症ケアパスの完成 ・在宅医療・介護連携推進事業実施検討会での具体的事業の計画推進
大豊町 社会福祉協議会	・地域包括支援センターとの定例会(月1回) ・地域ケア会議(1回/2月) ・医療機関との連携 随時	・地域包括支援センターとの定例会(月1回) ・地域ケア会議(1回/2月) ・医療機関との連携 随時
大豊町	第1回 認知症初期集中支援チーム検討委員会を8月5日に開催。	・認知症初期集中支援チームのチーム員研修 受講予定日 :10月15、16日 受講申し込み者:保健師1名、社会福祉士1名 ・研修修了後、認知症初期集中支援チームの活動開始
土佐町	・地域ケア推進会議実施(5月27日) ・地域ケア会議実施(個別ケア会議)(6/9,9/8) ・認知症専門相談の実施(8月8日) ・H28.4.1認知症地域支援推進員配置、認知症初期集中支援チーム設置	・地域ケア会議(個別ケア会議)(12月、3月予定) ・ご長寿健診結果や民生委員等からの相談を整理し、認知症初期集中支援チームでの対応が必要なケースをつなぎ対応していく。

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(1) 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり

	平成28年度上半期の取り組み(成果)	下半期の取り組み予定
・大川村 ・大川村社会福祉協議会	◆ケア会議の見直し ・会議での検討対象者の見直し 要支援から要介護にうつった人 要支援の人 ◆会議での使用様式の変更 ・検討課題にテーマを付ける 例: 「男性の独居」「介護家族への負担」	◆ケア会議の実施 ・ケアマネとの連携

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(2)在宅ケアを支えるため入院・入所施設との連携の仕組みづくり

	平成28年度上半期の取り組み(成果)	下半期の取り組み予定
早明浦病院	退院前カンファレンス、退院前訪問を積極的に行った。訪問リハの広報活動に伴い、契約者も増加傾向にある。	引き続き在宅復帰の強化のため、退院前カンファレンス、退院前訪問に取り組んでいく。
嶺北中央病院	退院前カンファレンス、退院前リハビリ訪問の積極的運用、介護家族の負担軽減につながるレスパイト入院の実施、地域包括支援センターとの連携による情報収集	退院前カンファレンス、退院前リハビリ訪問の積極的運用、介護家族の負担軽減につながるレスパイト入院の実施、地域包括支援センターとの連携による情報収集
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	患者さん及び家族さんのお困りごとを聞き出し支援に努力した。	悩みの具体的内容にスムーズに対応できるように情報共有できる仲間を増やしていきます。
中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会嶺北代表		中央東ブロックにて、介護や障がい関係など多職種連携を図ることができるよう、研修を開催予定。
本山町	地域ケア会議での事例検討等 (5/27,6/15、7/20、8/17)	・MSWとの連絡会 ・地域ケア会議での事例検討等
大豊町 社会福祉協議会	・医療機関、施設等からのカンファレンスへの出席はもちろんのこと、社協からも積極的に情報提供をお願いする。 ・退院時には、関係ある他事業職員と出席し情報を共有する。 ・勉強会、研修会へ積極的に参加し、職員間で研修内容を共有する。	・医療機関、施設等からのカンファレンスへの出席はもちろんのこと、社協からも積極的に情報提供をお願いする。 ・退院時には、関係ある他事業職員と出席し情報を共有する。 ・勉強会、研修会へ積極的に参加し、職員間で研修内容を共有する。
大豊町	・嶺北4町村の担当課長が参集し、嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業実施検討会を8月3日に立ち上げる。 ・退院前カンファレンス、医療機関の入院患者の自宅訪問等への参加	嶺北地域在宅医療・介護連携推進事業の一部を医師会等へ委託。
土佐町	在宅医療・介護連携推進事業実施検討会立ち上げ(8月3日)嶺北3町1村	・在宅医療・介護連携推進事業実施検討会及び実務担当者会において検討する。 ・事例に応じて医療機関と連絡を取り合い、適宜カンファレンスの実施を依頼する。
・大川村 ・大川村社会福祉協議会	◆関係機関との情報共有 ・外部からは、村窓口＝“保健師”の一本となっていることからスムーズにできている ・医療費等の担当が総務課内同グループに在るため、入院などの情報が共有できる ◆診療所2階の整備 ・指定を受け、設備も整えた	◆診療所2階の周知 ・10/1健康福祉まつりにて、モデルルームとしてIH機器体験、休憩所として利用してもらい、周知を図る ◆課題 ・保健師不在時の対応

◎取り組み目標「医療・介護・福祉の連携の推進」

(3)地域が一体となった看護・介護職員の確保対策の推進

	平成28年度上半期の取り組み(成果)	下半期の取り組み予定
早明浦病院	<ul style="list-style-type: none"> 「ふくし就職フェア」(8月13日)に参加し、施設のPRと併せて嶺北地域の紹介を行い、嶺北地域での就職を勧誘した。 ホームページを通じて就職の勧誘を行った。 高校生の体験学習の受入れを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 「れいほく就職相談会」(10月10日)、「看護職員就職説明会」(平成29年3月予定)に参加し、積極的に病院(施設)のPRを行い就職を勧誘する。
嶺北中央病院	<ul style="list-style-type: none"> 家族用職員住宅の確保、新規採用の看護師家族の移住があった。町と共同して奨学金の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族用職員住宅の確保、町内の空家の当合せ、奨学金の確保。
高知県看護協会 嶺北地区代表	<ul style="list-style-type: none"> ◆個々の施設の可能な範囲での研修のオープン化継続 (医療安全、感染対策、褥瘡・栄養等) ◆可能な施設での受け入れ <ul style="list-style-type: none"> 職業体験 ふれあい看護体験 (受け入れ期間7月21日～8月24日まで) 嶺北高校生町外にて4名、嶺北中央病院 嶺北外高校生2名 ◆看護協会内ナースセンター復職支援研修4回/年 (6月23日、24日) (9月28日、29日)復職前後含む ◆離職時看護職の届出制度(努力義務化)の啓蒙と運用 (必要支援として就業先等の代行届出業務) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の施設の可能な範囲での研修のオープン化継続等) ・嶺北就職相談会等への参加予定(10月10日) ・就職説明会(かるぼーと)参加予定(3月ごろ) ・看護協会内ナースセンター復職支援研修12月、2月
嶺北地区介護施設 代表		合同面接会10月10日実施
本山町	介護職員初任者研修を嶺北4町村共同で開催する(9/4～12/11)	嶺北4町村での取り組みとして、介護職員初任者研修受講者に嶺北地域の医・介護事業者を紹介し、就業に結び付ける
大豊町	介護職員初任者研修(嶺北4町村合同開催)を企画したが、研修参加希望者は0人であった。	
土佐町	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所連絡会において、人材確保・人材育成について情報交換を行った。(9月8日) ・介護職員初任者研修(嶺北3町1村合同開催)9月4日～ 	介護職員初任者研修(嶺北3町1村合同開催)
・大川村 ・大川村社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉協議会職員の充実 ・介護福祉士1名、事務1名増員。 ・組織図を整備し、事務局体制、介護サービス、地域支援(あったかふれあいセンター含む)の組織体制づくり 	社会福祉協議会職員の資質向上のための研修等への参加

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(1) 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり

	平成28年度上半期の取り組み(成果)	下半期の取り組み予定
嶺北中央病院	各地区講演会、各種研修会の参加	各地区講演会、各種研修会の参加
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	見守り活動や気づきノート活用実績など 認知症支援について地域学生の職場体 験受入れ時に説明をしました。	・地域学生や悩んでいる家族へ認知症 対応ガイドブックを配布 ・心の健康へ配慮する大切さや服薬支 援について講師として啓発に努めます。
嶺北地区介護施設 代表	キャラバン・メイト養成講座を3名の職員 が受講。サポーター養成講座へ派遣可 能。	
中央東ブロック介 護支援専門員連絡 協議会嶺北代表	家族会の集まりなどへの広報や周知な ど協力していくことができた。	◆認知症サポーターやメイト養成を啓発 していく。 ・ケアマネの受講をすすめていく。 ・地域住民へ受講(サポーター養成)につ いて啓発していく。 ◆家族会の集まりなどへの広報や周知 など協力していく。
本山町	・嶺北高校生(6/24)、シルバー人材セン ター職員(7/8)に認知症サポーター講座 を開催 ・介護者家族の会の参加者対象に研修 事業を企画 ・介護者家族の会のチラシを毎月100人 に送付	介護者家族の会の継続的開催
大豊町 社会福祉協議会	・民生委員協議会定例会で、認知症の 理解を深める ・中学生のボランティアキャンプでのサ ポーター養成講座の実施 ・あったかふれあいセンターでの見守り 活動及び啓発活動の強化。	・認知症地域支援推進員の育成 ・認知症カフェの開設を検討する
大豊町	◆認知症サポーター養成講座 2回開催し 68人養成 ・地域住民対象 60人 ・中学生のボランティアキャンプにて8人 ◆平成27年度に作成した『認知症ケアパ ス』を民生委員協議会等に紹介し、大豊 町の認知症の人や家族への支援の仕組 みと理解を図った。	認知症サポーター養成講座の開催
土佐町	◆地域での見守り ・7/21あじさいネットワークにおいて、今 年度の実施計画を検討した。(社協委 託) ◆早期発見の取り組み ・日常的な民生委員との情報交換、情報 共有。 ・社協ネットワーク名簿に基づく民生委員 との個別面談の実施(7月) ◆介護家族のつどいの支援(6/17,9/15)	介護家族のつどいの支援継続
・大川村 ・大川村社会福祉 協議会	認知症または認知症疑いのケースの情 報共有、相談	◆生活支援コーディネーターを含めた専 門職での地域課題検討の機会を持ち、 今後の対応を協議していく。 ・ケア会議の時間帯の前後で実施。

◎取り組み目標「地域の見守りや支え合いの推進」

(2) 認知症等の要援護者を支援する行政、専門職と住民の連携

	平成28年度上半期の取り組み(成果)	下半期の取り組み予定
嶺北中央病院	2ヶ月に1回地域包括ケア会議開催。包括支援センターとの情報共有。	2ヶ月に1回地域包括ケア会議開催。包括支援センターとの情報共有。
高知県薬剤師会 嶺北地区代表	気になる患者さんに対して民生委員さんやケアマネジャーと情報共有しました。	・認知症以外でも介護の悩みを気軽に相談してもらえたい。 ・見守りを継続し民生委員さん等へ連携します。
本山町	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士会との連携 ・地域見守りネットワーク会を利用し、民生委員、区長、各地区自主防災組織代表との意見交換をおこなう ・民生委員・児童委員連携協議会定例会(毎月1回)に参加し、意見交換を行った。 ・本山町社協が県、認知症高齢者見守り活動事業を申請する企画に参加(内容:住民にキャラバンメイトやサポーターを紹介し、支援体制を強化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との定期的な意見交換会を継続する ・地域見守りネットワーク(下部組織、見守りグループを含む)への参加 ・県事業実施への協力
大豊町 社会福祉協議会		地域包括支援センターと連携し、地域での普及・啓発活動をとおり、地域での支援体制を検討する。
大豊町		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援推進員を中心に、支える仕組み作り(現在の大豊町で実施可能な取組)について考える。 ・次年度から実施する認知症予防教室を住民モニターとともに模索する。
土佐町		地域の社会資源情報の取りまとめや認知症ケアパスの作成について引き続き検討を行う。
・大川村 ・大川村社会福祉協議会	認知症または認知症疑いのケースの情報共有、相談	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活支援コーディネーターを含めた専門職での地域課題検討の機会を持ち、今後の対応を協議していく。 ・ケア会議の時間帯の前後で実施。